

# 伊藤手帳

## 上下段に月・週間カレンダー配置

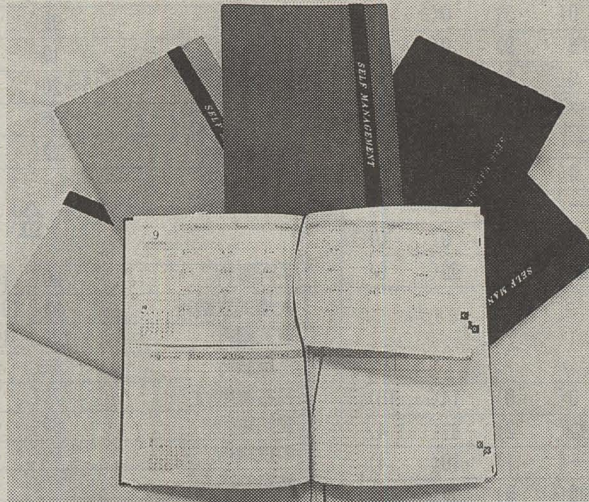
# セパレート手帳投入

## 新ブランド 第1弾 通販サイトも新設

手帳メーカーの伊藤手帳（本社名古屋市中区豊前町3の42、伊藤亮仁社長、電話052・936・2362）は、通販サイトを立ち上げ、新ブランド商品の販売を開始した。第1弾は上段が月間カレンダー、下段が週間カレンダーなどに分かっている手帳「セパレートダイアリー」。手帳を単なるツールではなく目標達成のサポーターと位置づけ、時間管理や目標達成を支援する。初年度3千冊の販売を目指す。（東山麻衣子）

新ブランド「Yum 標」に向けた行動、計画（e k i r o c k（ユメなどを記録して目標達成キロック）」は「夢の成を支援するサポーターと位置づけ、商品を手帳を単なるスケジュー企業・開発した。セパレートダイアリーのツールではなく、目録は、上段が月間カレ

ンター、下段が週間カレンダーとなり、月間予定と週間予定を一度に確認でき、



上下2段式とすることで、一覽性を高めた

分や1日の流れが一目で分かる。

このほか、長期に渡るプロジェクトを管理する「ワーキングプラン」や、日々のやるべき項目をチェックする「タスク管理」ページなども設けた。また、180度開く

「糸かがり製本」、かばんの中で手帳が開かないように閉じておくゴム、しおりひもを3本つけるなど、利便性を重視して細部にもこだわった。

伊藤社長は「携帯電話やパソコンなどさまざまな管理方法がある

が、一覽性やどこでもすぐにチェックして書き込める点から、手帳を愛用している人は多い。限られた時間を有効に使う夢を実現するために、手帳をつまみ活用してほしい」としている。